

# 2026年 シラバス

履修規定	必修課目	授業課目	保健（皮膚科学）
履修学年	1年	コース	理容科・美容科
担当教員	鞍成和恵	経歴	保健教員資格、同時授業教員資格
授業時間数	37	事業方法及び場所	教室 校内

## 1. 教科・科目の目標（到達目標）

- ・理容師・美容師とかかわりの深い皮膚・毛・爪についての、構造、機能に関する科学的、系統的知識を身につけさせるとともに、理容技術、美容技術と関連させながら学ばせる。
- ・国家試験に頻出の内容について詳しく取り上げることで全体の合格率向上を目指す。

## 2. 学習内容

- ・理容、美容との関係について把握できるように学習させる。
- ・教科書の具体的内容を講義していき、理解度を確認できるようノートまとめを行う。

## 3. 学習方法

- ・小テストの実施
- ・各編において復習のため総合学習を行う。
- ・講義形式を基本とし、国家試験に向けた演習授業も適宜取り入れる。
- ・オリジナルプリントの活用

## 4. 学習評価

- ・授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、学期末テスト（70点以上であること）により評価する。
- ・学習態度、提出物、小テストで評価する。

教科書	保健（日本理容美容教育センター発行） 美容技術理論1・美容技術理論2 理容技術理論1・理容技術理論2	参考文献 副教材等	オリジナルプリント DVD
-----	--	--------------	------------------

## 学習計画

月	学習項目	学習内容・方法
4月	皮膚の構造	皮膚の重要性について 皮膚表面の構造を学習する。 表皮・真皮・皮下組織それぞれの機能を理解させる。 皮膚の部位さについて特徴を学習する。 オリジナルプリントの活用
5月	皮膚付属器官の構造	毛・脂腺・汗腺・毛について解剖学的に学習する。 毛の性状とそれを利用した理容・美容技術。 オリジナルプリントの活用
6月	皮膚の循環器系と 神経系	皮膚の血管・リンパ管について理解させる。 皮膚感覚として知覚神経と自律神経の働きを学習する。 DVD・オリジナルプリントの活用
7月 9月	皮膚と皮膚付属器官 の生理機能 総合学習	皮膚の様々な役割について学習する。 学期末テスト 1項～9項までの作用について十分に理解させる。
10月	皮膚と皮膚付属器官 の生理機能	爪・毛のはたらきについて学習する。 オリジナルプリントの活用
11月 12月 1月	皮膚と皮膚付属器官 の保健	皮膚のケアを全身と関連した視点で理解させる。 皮膚と体内病変の関係を理解させる。 学期末テスト 子どものおしゃれによる皮膚トラブルについて学習する。
2月 3月	皮膚と皮膚付属器官 の疾患 総合学習	感染症の原因、種類と理・美容所での注意点を学習する。 皮膚の異常と種類について学習する。 学期末テスト